



愛寿会たより

春号

第 250 号
令和 5 年
1 月 発行

謹んで新年のお慶びを申し上げます

社会福祉法人 愛寿会 理事長 小宮山 光彦

令和五年の年頭に当たりご挨拶を申し上げます。より一層の感染対策の徹底に努めてまいります。昨年は、当法人設立五十周年という節目の年でも、また本法人では、六十歳以上の職員が多数勤務し、関係各位には、ひとかたならぬご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。また本法人では、将来的に職員不足が課題として挙げられますが、令和三年一月から外国人技能実習生の受け入れを行い、ミャンマー国の八名が実習を行っています。令和五年六月のグループホームの開設も見据え、新たに八名程度の職員を配置する必要があります。令和四年には、敷地内に新たな職員寮の建設を進め、令和五年三月には、ネパール国から四名の技能実習生および四名の特定技能実習生を受け入れ、対応していくこととしています。

昭和四十七年七月に、社会福祉法人愛寿会を設立し、翌年五月には、山梨県下では初の民設民営施設として、特別養護老人ホーム仁生園が開設されました。幾多の困難を乗り越え、本会が設立五十周年を迎えられたのは、地域の皆様をはじめ、関係各位のご支援助と愛寿会役員一人ひとりが、真摯に職務を全うしてきた結果であり、その成果として着実に発展し、長期に事業が継続できたのではないかと感じています。ご承知の通り、高齢化の進行は日本の社会現象として現在深刻な状況となっており、経済活動や社会保障など、各種の対策が講じられているところであります。現在、人口減少傾向となり、高齢者福祉の境に高齢者人口も減少傾向となり、高齢者福祉施設においては利用者様やご家族様から選択され、より質の高いサービスを安定的に提供できる施設を利用者様、入所者様の安心安全を確保すべく努力してまいりましたが、結果的に昨年十一月および十二月に特養と障害者施設でクラスターが発生してしまいました。直ちに保健所からの詳細な指示を受け、各所の消毒や換気、有症者の隔離、防護服の着用および手指消毒等、施設内での蔓延防止対策を徹底させ、約一か月で終息には到りましたが、多くの入所者様や職員が感染し、きめ細かい介護・生活支援が容易でない状況もありました。この度のクラスター発生については、役員全員で真摯に受け止め、深く反省し、さらなる発展を期していきたいと存じます。

しかしながら現在、未曾有の災禍である新型コロナウイルス感染症の拡大に歯止めがかからず、山梨県内の多くの福祉施設でクラスターが発生しています。本法人におきましても、これまで感染予防に努め、利用者様、入所者様の安心安全を確保すべく努力してまいりましたが、結果的に昨年十一月および十二月に特養と障害者施設でクラスターが発生してしまいました。直ちに保健所からの詳細な指示を受け、各所の消毒や換気、有症者の隔離、防護服の着用および手指消毒等、施設内での蔓延防止対策を徹底させ、約一か月で終息には到りましたが、多くの入所者様や職員が感染し、きめ細かい介護・生活支援が容易でない状況もありました。この度のクラスター発生については、役員全員で真摯に受け止め、深く反省し、さらなる発展を期していきたいと存じます。

昨年、愛寿会設立五十周年を迎えたわけですが、今後も民設民営施設の先達としての、責任と自覚を忘れることなく「愛寿会三つのモットー・七つの誓い」のもと、役員が一丸となって職務を全うし、さらなる発展を期していきたいと存じます。



令和四年十月十六日 愛寿会の設立五十周年記念式典が盛大に挙行されました

式 辞

本日、ここに社会福祉法人愛寿会の設立五十周年記念式典をこのように盛大に挙行できますことを、愛寿会役員代表として、心より感謝申し上げます。

また、山梨県知事様をはじめ、北杜市長様、山梨県議会議員様、市議会議員様、行政機関の皆様並びに、県及び市の社会福祉協議会様、各社会福祉法人様など、今日まで、社会福祉法人愛寿会特別養護老人ホーム仁生園の発展のために、温かいご理解と、多大なご尽力を賜りました関係各位の皆様には、本日は、大変ご多忙の中、ご出席をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

本会は、南に霊峰富士を望み、東西には甲斐駒ヶ岳、瑞牆山など、日本百名山にその名を連ねる山々に囲まれた八ヶ岳南麓のこの地に、昭和四十七年七月、社会福祉法人愛寿会を設立し、昭和四十八年五月に、山梨県下では、初の民設民営施設として、特別養護老人ホーム仁生園を開設しました。初代理事長に平井一満氏、第二代に平井一雄氏、第三代は厚生省出身の板山賢治氏、第四代は先程記念講演を頂いた小澤澄夫氏、その後を私が引き継いだわけですが、先輩諸氏が歩んでこられた道のりは、決して平坦なものではなく、大変ご苦勞をなさったと思われまます。

ご承知のとおり、高齢化の進行は、日本の社会現象として現在深刻な状況となっております。令和四年の山梨県高齢者福祉調査では、六十五歳以上の

高齢者の割合が山梨県全体で三十一・二パーセント、北杜市においては、四十パーセントになるなど、高齢化は確実に進行して経済活動や社会保障など各種の対策が講じられているところです。

こうした中、本会が設立五十周年を迎えられたのは、地域の皆様を始め関係各位のご支援と愛寿会役員、一人ひとりが真摯に職務を全うしてきた結果であり、その成果として、着実に発展し、長期に事業が継続できたのではないかと感じています。

今後とも、こうした社会の要請に応えるべく、また、民設民営の先達として、その気概を忘れることなく、施設の利用者様、そのご家族様に対し誠実に接し、そのお立場に立って考え行動しなければならぬと強く感じ、度量の大きい施設にさらに発展させる決意を新たに、前進してまいれる所存でございます。

終わりに、関係各位の皆様には、今後とも末永く、ご指導ご協力、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。設立五十周年記念のごあいさつといたします。

令和四年十月十六日

社会福祉法人 愛寿会

理事長 小宮山光彦



〈愛寿会設立五十周年記念式典〉

十月十六日、愛寿会の設立五十周年記念式典が盛大に挙行されました。

会式前に愛寿会の運営に多年に亘り御尽力を頂いた元副知事である第四代理事長の小澤澄夫氏による、演題「愛寿会五十年の歩み」の記念講演を行って頂きました。

愛寿会設立における開祖である甲府市議会議長を勤めた初代理事長の平井一満氏、医師であった第二代理事長の平井一雄氏、中興の祖であった元厚生労働省の第三代理事長の板山賢治氏の愛寿会の設立から、運営、新館建設等の功績や苦勞話等、山梨県の民設民営第一号施設であり福祉の先達として走り続けてきた愛寿会の五十年を振り返って頂きました。



【 小澤澄夫 第 4 代理事長 】



【 清水元義 統括施設長 】



【 第二仁生園 利用者様ご家族 細田 太満美 様 】



【 長崎幸太郎 山梨県知事 】



【 愛寿会職員 勤続永年表彰 坂本七百重 】



【 武田和久 緑の風理事長 】

記念式典は、清水元義統括施設長の開会の挨拶に始まり、小宮山理事長の式辞、元理事武田和久氏、元理事長小澤澄夫氏、高額寄付者様への感謝状の贈呈、職員の永年勤続表彰、長崎幸太郎山梨県知事、上村英司北杜市長並びに浅川力三山梨県議員によるご祝辞を頂きました。また、加藤紀雄北杜市議会議員、北杜市議会議員の皆様、沢山の皆様の参列を頂く事ができました。参列者の方々、職員と共に五十年の節目の年を祝いました。

ご臨席御礼

皆様には当愛寿会の運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

愛寿会はお陰様で設立五十周年を迎えることが出来ました。これもひとえに皆様の日頃のご支援の賜物と心から感謝いたします。

今後、地域の資産・財産である施設を守り、今後とも福祉実践を通し地域社会への貢献を続けて参る所存です。

更に、末永く福祉の向上と人々の幸せを追求して役員一同一丸となり日々研鑽に努めて参ります。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本日はご臨席を賜り誠にありがとうございます。

社会福祉法人愛寿会
役員一同



仁生園・本部の航空写真 平成 15 年 4 月撮影



第二仁生園の外観写真 平成 23 年 7 月撮影



仁生園開設当初の外観写真 昭和 48 年 撮影

令和四年十二月十五日（木）第二百三十回理事会が開催されました

主な内容についてお知らせします。

(一) 令和四年度一般会計補正予算について
 当法人経理規定では、「予算執行中に、予算事由が生じた場合には、理事長は補正予算を作成して理事会に提出し、その承認を得なければならぬ」とされています。この規定に基づき、補正予算を編成しました。

収入については、当初予算作成時より変動がありましたので、収入見込み額に基づき補正予算を編成しました。

支出については、当初の予算を超える場合や、計画外等の支出について、新たに予算を増額して補正予算を計上しました。資金運用の適正化を図ることを目的とした補正予算は承認されました。

(二) 仁生園社宅新築工事請負契約専決処分について

社宅新築工事請負契約については、整備期間を考慮する中で、定款施行細則第三十条に基づき理事長の専決事項とし、工事請負契約を締結いたしましたので、定款施行細則第三十一条に基づき、理事会に理事長専決の報告をいたしました。



(三) 規程の改正について関係箇所を
 追加および変更し承認されました。

- ・ 社会福祉法人愛寿会組織規程の一部改正について
- ・ 社会福祉法人愛寿会就業規則の一部改正について
- ・ 社会福祉法人愛寿会職員給与規程の一部改正について
- ・ グループホーム「やすらぎ」運営規程の一部改正について

(四) 社会福祉法人愛寿会評議員会の開催について

評議員会を招集する場合は、理事会の決議が必要なことから提案され、令和五年三月二十三日の開催が承認されました。



第 230 回理事会の様子



◆報告事項

- (一) コロナ感染者（クラスター）の発生・収束について
- (二) 「グループホーム」の改修について
- (三) ネパール国からの介護技能実習生、特定技能実習生の受け入れについて

不在者投票

一月十八日に、山梨県知事選挙の不在者投票が、会議室にて執り行われました。
 参加された皆さまは、投票用紙に丁寧に記入され、真剣に清き一票を投票されておりました。



特別養護老人ホーム 仁生園

〜お楽しみ会〜

今回は、一号館四階で行った「お楽しみ会」の様子をご紹介します。

最初は「輪投げ」をしました。それぞれに目標を決めて始まった輪投げ。なかなか目標点数に届きません。「今度こそ!!」と目標点数を目指して数字を狙います。皆さん身を乗り出して真剣に投げていました。目標達成した利用者様は、「やった〜」と大喜び。次は「ワニワニパニック」です。箱の中から飛び出したワニを、ピコピコハンマーで叩きます。



最初は皆さん恥ずかしがってしまい、躊躇していました。いが当たりが命中すると、今度は躊躇なく「エイ!エイ!」と力強くハンマーを振り下ろして行きました。その姿がとても可愛らしくもありました。

最後は、ペットボトルボーリング。ゴムボールを手渡すと「指を入れる場所がないじゃん」と言いつつ、第一投を力強く投げました。

「倒れたよ!」「あく倒れない」皆さんの様々な表情に癒されながら、職員も楽しい時間を過ごすことが出来ました。



〜今年で三年目を迎えます〜

二号館では、一昨年に始めた「にこにこ畑」が、今年で三年目を迎えます。最初の年は、スイカを植えました。全滅で失敗してしまい、畑での野菜作りの難しさを学びました。

昨年植えたスイカは、ツルがグングン伸びて大成功!!キュウリもとうもろこしも育てました。その他にも、トマトやなす、枝豆も収穫できました。

特に、採れたてキュウリの浅漬は、利用者様の大好物です。「漬物だけでご飯一杯食べられるね」と笑顔で召し上がっています。

今春は、イチゴを育ててみようとして昨年苗を増やしました。

毎年、天気の良い日は畑まで車いすで野菜の様子を見に行きました。「上手に育っているね」と先輩方からお褒めの言葉をいただきました。

今年も、利用者様と一緒にアドバイスをいただきながら、楽しんで野菜を育てていきたいと思っております。



〜技能実習生インタビュー〜

前号からスタートした、技能実習生へのインタビュー。今回も、実習生に質問してみました。

一号館四階

カイン・ヤダナー・トン



シリーズ 第2回

〜 外国人技能実習生インタビュー 〜

- Q. 日本の季節はいつが好きですか?
春が好きです。梅雨の季節も好きです。
- Q. 日本で行ってみたい場所はありますか?
東京と福岡に行きたいです。福岡には姉がいるから行きたい。
- Q. 日本に来る前の印象と来てからの印象はどうですか。
日本に来る前は、夜も電気がたくさんついていて明るいだろうと思っていました。ここは夜になるととても暗いです。でも、日本人の方はとてもやさしい人ばかりだと思います。

仁生園 デイサービスセンター

クリスマスツリー作成

十二月十四日、デイサービスではクリスマスツリーを作りました。

折り紙を使って、ツリーとサンタクロースを作り、シールで飾り付けをしました。「どこに貼ろうかな」「何色にしようかな」と、悩みながら貼っていました。「顔を書くのは難しいよ」なんて言いながらも、とても上手に書いていました。出来上がった後は、「上手に出来たよ！」とご満悦でした。



お正月飾りを作りました

来年も良い年でありますように…。願いを込めながら、お正月飾りを作成しました。まずは、しめ縄作りです。藁を撚って、その後編んでいきます。「昔はよくやったよ」「子供の時に手伝わされたりね」とそんな昔話に花を咲かせながら、慣れた手つきでどんどん編んでいきます。



皆さん楽しみながら、しめ縄を完成させていました。

デイサービスでは、今年も様々なレクリエーション活動を行いながら、利用者様が楽しい時間を過ごしていただけるように、努めてまいりたいと思います。

本年も、どうぞよろしくお願い致します。



グループホーム やすらぎ

みんなで楽しむ行事

やすらぎでは、四季折々に様々なことをして、楽しい時間を過ごしています。

昨年は、コロナ禍で外へ出かけて楽しむことが中々できませんでしたが、室内では楽しんで頂こうと、様々なことを試みました。七夕の時期には短冊に願いごとを書きました。皆さん、健康と家族の無事を願うものばかりでした。

夏の時期には、毎日のように「炭坑節」や「東京音頭」等で、体操代わりにノリノリで踊っています。盆踊りって曲を聴くだけで体が動いてしまうものですね。

冬になると、来年に向けて願いを込めながらお正月飾りを作ります。「私のほうが上手いじゃん」



と言いながら、笑いあり、笑いあり!! 笑顔ばかりのやすらぎです。今年も、健康第一に「やすらぎ」らしく、楽しい一年にしていきたいと思っています。

第二仁生園

赤い羽根共同募金 助成事業完了のお知らせ

この度、令和四年度「赤い羽根共同募金」の助成を受けまして、左記の事業を完了することが出来ました。ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに、ご協力を賜りました関係各位に対しまして、謹んで感謝の意を表します。

記

- 一、事業所名 障害者支援施設 第二仁生園
- 一、事業の内容 オーバーテーブル 五台購入
- 一、助成金額 一九五、〇〇〇円
- 一、事業費総額 二六四、七〇〇円
- 一、完了年月日 令和四年七月二十五日



社会福祉法人 愛寿会
理事長 小宮山 光彦



〜 寿司会食 〜

十二月七日、第二仁生園では「寿司会食」をしました。

会食前には、給食業者の日清医療食品㈱の職員による、「鯛の解体ショー」を見させていただきました。鯛の解体は初めてだったので、利用者様はとも興味深く見学されていました。見事な手捌きで三枚におろされた鯛が、本日の寿司ネタです。

捌いている時に皆さんが、「おーすごい!!」と言って身を乗り出して見ていました。プロの手捌きを堪能した後、鯛のお寿司を利用者様と一緒に、職員も美味しくいただきました。



まだまだコロナ禍で、利用者様と一緒にバス等が出かけたりといった行事ができない中、室内でも利用者様に楽しんで頂けたら、という思いで開催した「寿司会食」でしたが、利用者様から「美味しかった」「楽しかった」といったお声を頂き、開催して良かったと思います。今年も、利用者様に楽しんで頂けるような企画を考え、発信していきたいと思っておりますので、本年も、どうぞよろしくお願いいたします。



地域赤十字奉仕団様から タオルが寄贈されました

令和四年十二月二十一日、地域赤十字奉仕団様から、たくさんのタオルを寄贈して頂きました。ご寄付頂いた品を大切に使用させていただきたいと思えます。ありがとうございました。



お心遣いをいただき、 心から感謝申し上げます (令和 4 年 5 月 16 日〜令和 4 年 12 月 20 日)

【物品のご寄附】 (順不同)

- ・平井 静子 様
- ・清水 紀代美 様
- ・田中 美帆 様
- ・進藤 和英 様



愛寿会のサービスへのご意見・ご要望等がございましたら左記までご連絡ください。
仁 生 園 電話 0551(32)3340
第二仁生園 電話 0551(32)8270

〜 来園の皆様へのごお願い 〜

新型コロナウイルス等への感染拡大防止対策をしております。ご不便をおかけ致しますが、ご理解をいただき、厳守していただく様、お願い申し上げます。

- ◆ 正面玄関を施錠しております。御用の方はインターホンにて、ご用件をお伝えください。
- ◆ 来園者全員のお名前を伺い、検温をします。
- ◆ 最少人数でご来園ください。
- ◆ 体調に少しでも不安がある方は、事前に来園をお控えください。

〜 面会についてのお知らせ 〜

- ☆ 正面玄関横にて「ガラス越し面会」を行っています。
- ◆ 電話による事前予約が必要です (電話をいただいた日の一週間後から予約を承ります)。
- ◆ 来園前の二週間は、ご自宅にて体温を測って下さい。
- ◆ 面会時間帯は午前九時半〜十一時の間で十五分間です。
- ◆ 少人数での面会にご協力ください。
- ◆ 施設内への立入はご遠慮ください (施設内のトイレ等は使用できません)。



☆ 仁生園では、ご家族様をお持ちの iPad、iPhone を利用した「テレビ電話形式」の面会が可能ですのでご利用ください。希望される場合は、ご予約ください。
※ 感染症の状況に応じ、急な面会制限をする場合がございます。お電話でお問い合わせいただくか、当法人のホームページにてご案内しておりますので、ご利用ください。

新設の認知症高齢者グループホーム（令和 5 年 6 月開所予定） 開設にあたり社会福祉法人愛寿会の職員募集を行います

事業所の紹介

社会福祉法人愛寿会は、昭和47年に設立し、八ヶ岳南麓の景観に恵まれた、安全性を重視した福祉総合生活支援センターです。働くスタッフ一人ひとりが目的意識を持ち、明るく楽しい職場づくりに取り組み、施設側も職場環境を整えスタッフを大切にする、やさしさやぬくもりを感じることができる魅力ある職場です。

- 愛寿会のスタッフは、現在約140人
- 有資格者80名 平均年収450万円
※ 勤務時間に制限のある方も歓迎
- 社会保険等の制度も充実
- 給与制度(昇給)、各種手当(処遇改善他)あり
- 各福利厚生(年休)の充実
※ 職員親睦旅行、夏祭りあり
- スキルアップの職員研修を積極的に活用

求める人材は

「人が人を元気にしていく」スタッフ
一人ひとりが「利用者様を元気にしてい
く」「ご家族様を元気にしていく」「ス
タッフ自身も元気になる」そんな介護を
仲間と一緒に目指す方を求めています！



愛寿会の職員からひとこと

愛寿会のモットーは

「利用者本位のサービスの実践」「専門性の活かせる職場づくり」「地域社会との協働と貢献」であり
日常の心得(七つの誓いは)

- 「はい」という素直な心を持ちましょう。
- 「すみません」という反省の心を持ちましょう。
- 「ありがとう」という感謝の心を持ちましょう。
- 「おかげさま」という謙虚な心を持ちましょう。
- 「どうしましたか」という気遣いの心を持ちましょう。
- 「そうですね」という分かり合う心を持ちましょう。
- 「させていただきます」という奉仕の心を持ちましょう。 　　です。



職員同士が支え、補いながらも笑顔で、楽しく、日々の仕事に向き合い、充実した時間を過ごしています。「利用者様とご家族様」に「笑顔と感動」を届けていきたいと思います。それが私たちのミッションです。

～ 採用に関するお問合せ先 ～

法人所在地 〒408-0031 北杜市長坂町小荒間 1293 番地

TEL 0551-32-3340 (代表)

FAX 0551-32-3546

HP <http://www.aijyukai.com>

E-mail jinseien@poem.ocn.ne.jp

採用担当 法人事務局長 竹中洋

